

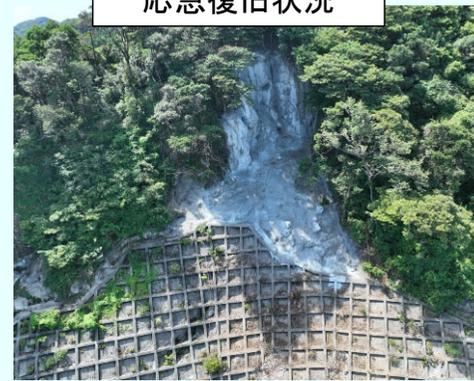
国道220号宮浦地区の落石による現地調査 (宮崎県日南市町宮浦)

宮崎県日南市宮浦の国道220号において、日向沖地震(震度6弱)による落石が発生。
現地状況の詳細な把握及び対応策の検討のため、TEC-Doctorを派遣し現地調査及び助言等を頂いた。

8月9日 出席者:宮崎大学 末次教授

8月15日 出席者:【現地】宮崎大学 横田名誉教授、福林准教授
【WEB】宮崎大学 末次教授、神山助教

● TEC-Doctorによる現地調査(令和6年8月9日、15日)



TEC-Doctor
宮崎大学 末次教授

【今回の災害について】

○不安定な岩塊はすでに落下しており、急崖部は一部亀裂はあるものの安定している。

【対策方法について】

○.応急対応として、

- ・落石発生箇所の上部にある土砂・植生(樹木)、急崖部の浮石の除去は必要
- ・落石発生箇所については、モルタル吹付によって表面保護することが望ましい
- ・落石発生箇所と法枠の間の崩落土については、地山が出るまで除去し、モルタル吹付で表面保護を行うこと
- ・法枠等の法面にある落石は不安定なものを取り除くこと
- ・防護柵設置(L=120m、H=約3m)の上、交通開放(片側)を行う事